

学力向上に効果のある取組事例

由布市立川西小学校

②思考力、判断力、表現力等の育成

取組の具体①

○「思考力の向上にむけた手立て」を探る
思考ツール(授業改善...マンダラチャート)

・大きな目標(思考力の向上)を実現するためのステップを見る化する。

・直面している問題をチャートの中心に記入し、その問題を解決するために必要な要素やアクションをサブテーマとして分解し、分析をすることで、多角的な視点から問題を解決するためのアプローチを行う。

(互見授業・授業交流)

・板書写真や実践をタブレットで交流することにより、学ぶ機会を持つ。

・実践発表により、板書や児童の発表場面を工夫するなど、授業改善に積極的に取り組む。

・図や数直線などを使って考え、どの学年も自力解決することを目指す。(ヒントカード等の使用)

＜思考力が向上するための手立てのマンダラート＞

<p>題材・問題について</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活に沿った子どもがイメージしやすい題材。 多様な考えが出るような問題設定。 別解でも解く。 	<p>教員の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 考えるヒントになるような教員の工夫。 思考を焦点化させる。 	<p>見通しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習事項を使うための前時の提示。 何を使って解くのか考えさせる。(絵・図・グラフ・数直線など)。 ヒントカードを用意する。
<p>自力解決</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをもたせる。 粘り強く解く気持ちをもちたせる。 	<p>思考力の向上</p>	<p>交流する場(対話)</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者に自分の考えを説明させる。(算数用語を使って説明)。
<p>発問</p> <ul style="list-style-type: none"> 問い返す。 深める発問をする。 	<p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> めあて(キーワード)に沿った振り返り。 最初とどう自分の考えが変わったかなどを振り返らせる。 文章化する(記録を残す)ことで、思考を再整理させる。 	<p>考えをつくるツール</p> <ul style="list-style-type: none"> ノート、ワークシートの工夫。 思考ツールの活用。 ICT(ロイロノート)の活用。

取組の具体②

○多様な考えに触れる(多様な考えを引き出す)手だて

- 教科書に示された2通りの考え方を示し、比較させていく。
- 児童の考えに、「先生の考え」を追加して提示し、比較して考えさせる。
- 通年でキャラクターを登場させ、別解等を提示する。
- 間違った考えを教師側から提示し、それを修正することにより、正しい答えを考えさせる。

・低学年では、実物の提示や日常生活に根ざした学習課題が有効。
半具体物などを操作する活動に多く取り組ませることで知識の定着に結びつけていく。

・中・高学年はICTを活用することで視覚化された対話が生まれ、深い思考を行う。

・振り返りは、子どもたちにどのような視点を提示するかを考えることで、何をねらいとする授業なのかを明確にする。

・高学年になるにつれて、自分の考えだけでなく、別解を考えることで思考力を深める。

